

 笑顔とチャレンジがあふれるまち ならは

広 報

ならは

2023 APR. 第639号

4

特集

檜葉町 2023年の3.11 ～東日本大震災から12年～

檜葉小学校、檜葉中学校 卒業式

檜葉町×東京大学総合研究博物館連携ミュージアム
大地とまちのタイムライン

●表紙PHOTO:みんなの交流館 ならはCANvas 3.11特別企画 ガラスに絵を描こう!

檜葉町 2023年の3.11 ～東日本大震災から12年～

震災から12年となる3月11日を迎え、町内各地で震災を追悼するイベントが開催されました。



檜葉町は毎年3月11日を「ならは防災と伝承の日」と定めており、震災から学んだ教訓を生かしながら、町民の皆様が笑顔で過ごすことができる活気あるまちづくりを進めています。



それに伴い、檜葉町コミュニティセンターで、「3・11・つなぐ・未来。」と題し、震災の経験を語り継ぐトークセッションや伝承週間で学んだ小学生の発表、檜葉町防災アドバイザー・藁谷俊史氏による講座を行いました。



Jヴィレッジでは3月10日～12日に「SONG OF THE EARTH TH 311 FUKUSHIMA 2023」が開催されました。音楽ライブやキャンドルナイトが行われ、参加した方々はその幻想的な様子に平和への祈りをささげていました。



震災で亡くなられた方を追悼する献花台がここなら笑店街に設置されました。3月11当日は多くの皆様が献花を行いました。



みんなの交流館 ならは C A N v a s では「3・11 特別企画展 みちのうえ」が開催され、現在ではなくなってしまう建物や伝統的な祭り、懐かしい風景の写真が展示されました。



また、昨年度に引き続き子どもたちへ絵本の読み聞かせが行われました。檜葉町図書館司書の坂本さんから震災のことやいのちの大切さ、これからの大事に思うことが伝わるような絵本が読まれました。



当初予算から紐解く今年1年

令和5年度当初予算規模

(単位:千円、%)

会計の名称	令和5年度当初	令和4年度当初	増減	比較
一般会計	11,310,000	8,875,000	2,435,000	27.4
国民健康保険特別会計	1,196,467	1,204,901	△ 8,434	△ 0.7
下水道事業特別会計	公営企業会計へ移行	479,081	—	—
住宅用地造成事業特別会計	404	513	△ 109	△ 21.2
介護保険特別会計	945,224	932,990	12,234	1.3
後期高齢者医療特別会計	32,903	32,342	561	1.7
合計	13,484,998	11,524,827	1,960,171	17.0

(単位:千円)

会計の名称	区分	令和5年度当初	令和4年度当初	増減	比較
下水道事業会計	収益的収入	568,430	—	568,430	皆増
	収益的支出	532,402	—	532,402	皆増
	資本的収入	66,766	—	66,766	皆増
	資本的支出	227,584	—	227,584	皆増

※令和5年度予算からは、下水道事業に地方公営企業法が適用され、公営企業会計となります。

令和5年度当初予算は、3月定例会において可決されました。

一般会計の総額は**113億1,000万円**で、昨年度に比べると、**24億3,500万円**の増額となりました。

震災から12年が経過し、子育て・教育環境の充実や健康長寿事業の継続した取り組みに加え、令和6年度に向けたスポーツ関連施設の整備、新たに整備した特産品開発センターの活用による農業推進、移住・定住事業のさらなる充実など、魅力ある町づくりを通じて帰町者や移住・定住者の増加へつなげ、町民の皆様が充実した生活を過ごしていただくための予算編成を行いました。

主 な 事 業

農業



営農再開支援事業

156,439千円

事業内容

被災12市町村において、農業を再生するため、鳥獣対策や生産安定対策など営農再開に係る各種支援を行います。
●担当課:農林水産課

特産品開発センター維持管理事業

54,982千円

事業内容

甘藷・柚子・米等の地元農産物を活用し、新たな加工品の製造販売に取り組み、6次産業化を通して生産農家の収益向上と生産安定に加え、町の魅力の発信を行います。
●担当課:農林水産課

移住・定住



移住・定住促進事業

456,500千円

事業内容

大学との連携やスタートアップ企業の創出、シェアハウスの運営などとおし、移住者と地域が繋がるための事業を行います。
●担当課:政策企画課

交流人口拡大事業

103,884千円

事業内容

地域おこし協力隊事業の継続に加えて、Jヴィレッジを会場としたスイーツ甲子園チャレンジカップの開催や天神岬スポーツ公園を活用したアウトドアイベント等を行います。
●担当課:政策企画課

その他



多機能拠点整備事業

1,028,399千円

事業内容

健康づくりや防災・交流などの様々な機能を備えた多機能拠点や、道の駅からJヴィレッジを結ぶアクセス道路の整備を行います。
●担当課:政策企画課

子育て・教育



出産・子育て応援交付金事業

7,548千円

事業内容

妊娠届時から出産・子育てまで一貫した経済支援を行うため、交付金の支給を行います。
●担当課:こども課

放課後等教育運営事業

13,447千円

事業内容

小学校敷地内にある児童クラブの運営や、子ども教室での体験をとおり、子どもたちの学びの場を学校外でも作り、健全で充実した子育て環境を目指します。
●担当課:こども課

総合グラウンド整備事業

720,256千円

事業内容

令和6年度からインターハイ男子サッカー全国大会の固定開催や、JFAアカデミー福島女子が町内での活動を再開することから、陸上競技場の改修工事を行います。
●担当課:生涯まなび課

JFA女子寮災害復旧事業

562,239千円

※JFA…日本サッカー協会

事業内容

令和6年度のJFAアカデミー福島女子の活動再開に伴い、東日本大震災により被害を受けた寮の災害復旧を行います。(当該震災以降は静岡県で活動を続けています。)
●担当課:こども課

健康

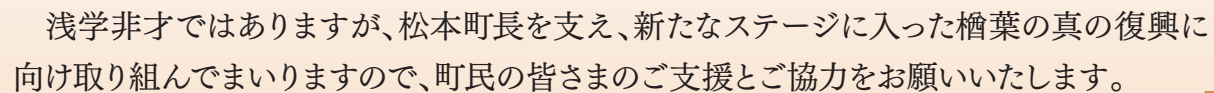


健康サポート事業

9,139千円

事業内容

従来の元気アップ教室やヨガ教室に加え、新たなウォーキングコースの作成等を行い、町民の方一人一人がいつまでも元気に過ごせるよう、健康維持のサポートを行います。
●担当課:保健福祉課



トルコ・シリア地震 支援の呼びかけ

2月6日にトルコ南部で発生した地震の支援につながるため、2月16日、みんなの交流館ならはCANAvasで「トルコ・シリア地震を語り合う会」が開催されました。

国際NGOに所属し、トルコでシリア難民の支援経験がある塩塚

祐太さん（一般社団法人ならはみらい職員）が滞在していたときの写真や現状を説明し、支援の協力を呼びかけました。

当日集まった募金は日本赤十字と国際NGOを通じて被災地に届けられます。

国際NGOに所属し、トルコでシリア難民の支援経験がある塩塚



ブンケン歩いてゴミ拾いの旅」が再び檜葉町に

福島中央テレビ「ゴジてれChu!」で放送中の企画「ブンケン歩いてゴミ拾いの旅」が今年も檜葉町にやってきました。

SDGsアワード」を受賞する人気コーナーです。

この日は町役場や檜葉町振興公社の職員と、いっしょに道の駅ならはから国道6号線を歩いて北上しながら、車いっぱいのゴミ拾いをしました。

「ブンケン」こと郡山出身の俳優・鈴木文健さんは県内でゴミ拾いの旅のロケを行っており、福島県の「ふくしま



石田さん百歳賀寿

2月13日、石田まき子さん（営団）が百歳の誕生日を迎えました。

当日は、現在入所中の花ぶさ苑においてお誕生会が開催され、その席上、県知事並びに町からの賀状とともに記念品や祝金が贈呈されました。

石田さんは何事も制限されることなく、自分のペースで自由に生活することが長生きの秘訣とおっしゃっていました。当日は息子さんも出席され、祝福の言葉を受けながら、会話を楽しんでおられました。

これからも益々お元気にお過ごしください。おめでとございます。



消防団第8分団 に消防車が配備

2月16日、女性団員で構成される消防団第8分団へ消防車と人員輸送車が配備されました。

団員のみなさんは、消防用ポンプの起動から展開までの操作方法を確認し、その後木戸川河川敷で放水試験を実施しました。

今後、第8分団は、消火活動のほか、災害時の避難支援や避難所運営など、幅広い活躍が期待されています。



町内での 起業案を発表

2月22・23日、町内への進出を検討している企業等による新規事業報告会「ガバメントピッチ」がJヴィレッジで開催されました。

檜葉町は、新たな産業を作り出す企業や起業家の誘致・育成を積極的に推進しており、報告会は昨年度に引き続き2回目となります。

今回は企業5社に加え、特別枠として2大学5ゼミが発表を行い、檜葉町の特徴を活かした事業や問題解決のための事業を提案しました。



檜葉小学校 ふくしまっ子 体力向上優秀校に

児童生徒が体力向上に積極的に取り組む優秀な成果を上げている学校として、檜葉小学校がふくしまっ子体力向上優秀賞に選ばれ、福島県教育委員会から表彰を受けました。

檜葉小学校では、児童たちの運動の充実と習慣化に取り組んでおり、運動身体づくりプログラムや健康教育を実施しています。

今後も児童自ら進んで運動し、健康・安全に過ごす習慣が身につく教育に取り組んでいきます。



ラグビーの大畑氏 NARAHA アンバサダーに

3月5日、ラグビー元日本代表の大畑大介さんに檜葉町の魅力発信や交流人口の拡大につながる活動をするNARAHAアンバサダーに就任いただきました。

大畑さんは日本代表のときにJヴィレッジで練習を行った経験があり、「Jヴィレッジやスカイアリーナなどスポーツができる最高の環境があるため、スポーツ振興を通して、檜葉町を盛り上げるよう取り組んでいきたい」と抱負を語りました。



矢内久吉氏 危険業務従事者 叙勲受章

檜葉町出身の矢内久吉様が令和4年度秋の叙勲で、第39回危険業務従事者叙勲を受章し、役場を訪れました。矢内様は39年間海上保安庁に勤務し、小名浜港を中心に、遠いところでは青森県八戸市などで東北の海を哨戒していました。



鮭稚魚たちが大海原へ

3月6日、今年も鮭稚魚1万尾が木戸川漁協関係者らの手によって木戸川へ放流されました。今シーズンは計292万尾が放流予定となっており、4月上旬まで放流を続けていきます。檜葉町では東日本大震災をきっかけに、捕獲数が減少しており、昨年の捕獲数は423匹でした。漁協関係者らは「4年後に1匹でも多く木戸川へ帰ってくることを期待したい」と話していました。



令和5年春の 交歓会

3月5日、Jヴィレッジで、令和5年檜葉町春の交歓会が開催されました。この交歓会は、町と商工会の共催により、町内団体や企業、町が日頃からお世話になっている方々を招待し開催しているものです。新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いていたため、3年ぶりとなります。出席された皆様は、官民が力を合わせ、「新生ならは」に向かって、全力で取り組むことを誓い合いました。



親子で 米粉パンづくり！

3月12日、地元食材を使った料理教室第4弾「親子で作る！米粉を使ったパンづくり」が開催されました。講師にベーカーリーハウスアルジャーノンの八橋さんと矢内さんをお迎えして、地元産米を使用した米粉パンを作りました。今後は、前原地区に建設中の特産品開発センターでも米粉を使った商品の開発を進めていきます。ぜひご家庭でも米粉パンづくりにチャレンジしてみてくださいませんか？



図書室 だより



開室時間：午前9時～午後5時
休室日：4月10日(月)、17日(月)、
24日(月)、29日(土・祝)、
5月1日(月)、3日(水・祝)、
4日(木・祝)、5日(金・祝)

【おすすめの図書】

『日本に住んで世界のひと』

金井真紀／文・絵(大和書房)
『パリのすてきなおじさん』(柏書房)で知られる金井真紀さんの著書。金井さんが、世界のいろんな国からやってきた日本に住んでる外国人に話を聞いて、それをまとめた作品です。上野公園でチェロを弾く北マケドニアのひと、海面上昇で故郷が変わってしまったモルディブのひと、ジェノ



『日本に住んで世界のひと』
金井真紀／文・絵(大和書房)

サイドを経験した国アルメニアのひと、祖国を追われ難民申請中のコンゴ民主共和国のひとなど18組20人を紹介、それぞれの人生が、この一冊に凝縮されています！海の向こうの出来事も、この日本で起きている問題も、もっと近くに感じられます。

【児童図書】

『カステラアパートのざらめさん』

島村木綿子／作(Gakken)
拾った子ねこを飼うために、小学四年生のこのみがお母さんと引っ越してきたのは、クリーム色のかげに、こげ茶色の平らな屋根のカステラみたいなアパートでした。このアパートの大家さんは、生きものにとっても仲良しな、ちょっと変わったおばあさんで、近所の子どもたちは、魔女なのではないかと噂されています。そんなある日、同じアパートの川田さんの飼いがいなくなってしまう、みんなを探しますが見つかりません。ところが、大家さんには、なにかわかるみたいで：第30回小川未明文学賞大賞受賞作品。



『カステラアパートのざらめさん』
島村木綿子／作(Gakken)

新着図書

【一般図書】

- 『75歳からやめて幸せになること』
和田秀樹／著(大和書房)
- 『図解徳川家康と家臣団』
小川雄、柴裕之／編著(戎光祥出版)
- 『「印象」の心理学』 田中知恵／著(日本実業出版社)
- 『最強！スーパーフードサツマイモ』
吉元誠／著(KTC中央出版)
- 『「メンタルモンスター」になる。』
長友佑都／著(幻冬舎)
- 『仕掛島』 東川篤哉／著(東京創元社)
- 『教誨』 柚月裕子／著(小学館)

【児童図書】

- 『うちゅう』 山岡均／監修(高橋書店)
- 『命めぐる川』 岡野昭一／文・写真(講談社)
- 『びょうきのよぼう』 森戸やすみ／監修(Gakken)
- 『たんぽぽぽぽぽ 内田麟太郎詩集』
内田麟太郎／詩(銀の鈴社)
- 『ぐうたら魔女ホーライ来る！』
柏葉幸子／作(理論社)
- 『きみだけの夜のともだち』
セング・ソウン・ラタナヴァン／作・絵(ポプラ社)
- 『アンパンマンともりのひみつ』
やなせたかし／作・絵(フレーベル館)

◎ 4月23日は「子ども読書の日」、4月23日～5月12日は「こどもの読書週間」です。◎

今年の標語は、「ひらいてとじた 笑顔がふえた」です。幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか…。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

【お問い合わせ先】檜葉町図書室(檜葉町コミュニティセンター3階) ☎0240-25-4730(月曜・祝日休館)

おうちで ならいざっふ



4月になり、新たな年度が始まりました。そこで、この連載も内容をリニューアルして、新たな視点から情報をお届けしようと思います。

どのような内容かと言うと…、総合健診の際に実施している「心と身体のアンケート」の結果をご紹介しますのと共に、より健やかな日々を過ごすためのヒントをお届けします。

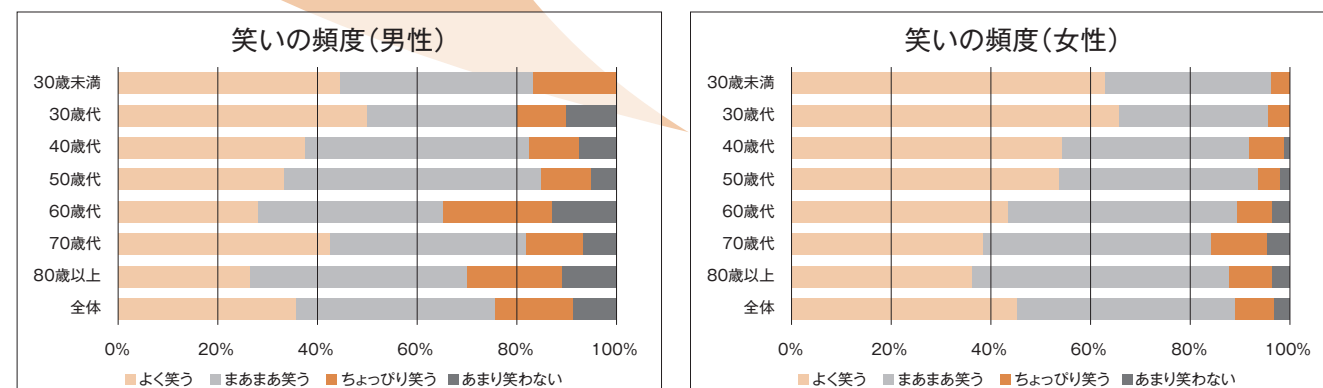
今月のキーワードは、『笑う門には福来る』です。

笑いと性別との関係から見てくこと

まずは、笑いの頻度と性別との関係です。「よく笑う」「まあまあ笑う」と答えた方は、全体で8割くらいですが、性や世代によって傾向が異なります。

男性と女性とでは、女性の方がよく笑っていることがアンケート結果から判りました。皆さんも、女性の方が笑っているなあ、と感じているのではないかと思います。そのことが再確認できる結果となりました。

また、男性ではその傾向が強いのですが、年齢を重ねるにつれて笑いの頻度が減少していました。



それでは、どうしてこのような違いが出てくるのでしょうか。

一つは、ストレスとの関係も考えられます。確かに、働き盛り世代はストレスフルな生活で、笑っている暇なんて何処にもない…、ということも考えられます。ただ、60代を過ぎるとストレスの原因が減少して、笑う頻度が増えても良いのですが、年齢と共に笑いは減ってしまっています。

ストレス以外の要因として、老化との関係が考えられます。どこが老化しているかというと…、「認知機能」が容疑者として考えられます。

笑いというのは高度な認知機能を必要としています。一瞬で理解して、一瞬にして笑うという、「理解力」が笑いには欠かせない要素なのです。

実際に、笑いの頻度と認知機能との関係を調べた研究では、よく笑う人に比べて、ほとんど笑わない人の方が認知症が多いことがわかりました。

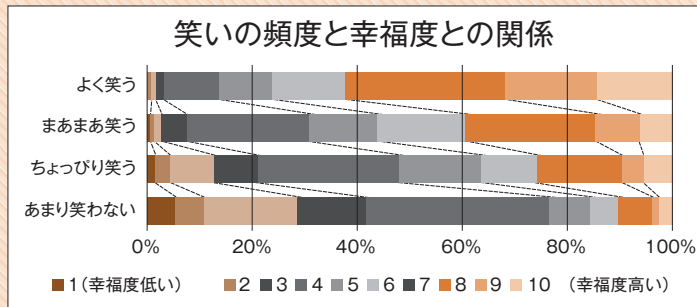


笑いの頻度と幸福度との関係

ここで、笑いの頻度と幸福度との関係をご覧ください。

「よく笑う」「まあまあ笑う」人は、幸福度が高い傾向にあるということがわかりました。

「笑うから幸せ」なのか、「幸せだから笑う」のかは、これまでの研究から結論が得られています。人は笑うから幸せになるのです。



笑う門には福来る、という言葉があります。幸せだから笑うのではなく、笑うから幸せがやって来るのです。

笑うことで認知機能の衰えを防ぐことができるだけでなく、日々の生活が幸せだなあ、と感じられるようになるならば、笑うに越したことはないと思うのですが、いかがでしょうか。

心身ともに健やかに過ごすため、一人で笑ったり誰かと笑い合ったりするひと時を持ちたいものです。



坂本保健師

監修：大平哲也先生(福島県立医科大学医学部疫学講座)

ひなまつり



あおぞら こども園 通信

3月3日は「桃の節句」。あおぞらこども園でも、ひなまつりの会を開きました。

会では、ひなまつりの紙芝居をみたり、ピアノに合わせて「うれしいひなまつり」を歌ったりしました。

また、ひなまつりにちなみ、なら福さん(波倉)からケーキなどのプレゼントがあり、みんなでおいしくいただきました。なら福さんありがとうございました。



お別れの会 & お楽しみバイキング

3月10日、卒園するひまわり組さんのお別れの会を開催しました。4歳児から卒園を祝う言葉を送られると、ひまわり組の園児たちは「立派な小学生になります。」と頼もしい誓いの言葉を返してくれました。

会の後はお楽しみバイキングランチ。普段、美味しい給食を作っている調理員の皆さんや先生と一緒に特別な給食を楽しみました。



卒園式

3月18日、令和4年度の卒園式が挙行されました。

来賓や保護者が見守る中、ひまわり組の園児たちは園長から「修了証書」を受け取り、あおぞらこども園を卒園しました。

保護者の皆さま、地域の皆さま、在園時は本当にお世話になりました。4月から小学生となった子どもたちを引き続き温かく見守ってください。よろしくお願いいたします。



あおぞらこども園 ☎0240-26-0808

あおぞらこども園Instagram <https://www.instagram.com/naraha.kodomoen/>



イベント報告 おめでとーございます!

第1回NSC地域交流ゴルフ大会

〔男性の部〕 優勝:杉内 一也 様
準優勝:関本 青春 様
第3位:佐久間幸夫 様

〔女性の部〕 優勝:吉田 範子 様
準優勝:先崎香代子 様
第3位:須田 恭子 様

第1回檜葉町スポーツ協会長杯ソフトバレーボール大会

〔レディースフリーの部〕 優勝:いわきさくら 様
準優勝:miracle's 様
第3位:ドリームB 様

〔トリムフリーの部〕 優勝:いわきさくら 様
準優勝:広野VCみかんB 様
第3位:いわきクラブ 様

〔トリムT-160の部〕 優勝:MVC 様
準優勝:KOBEEZ 様
第3位:T-style 様



レディースフリーの部いわきさくら



トリムフリーの部いわきさくら



トリムT-160の部MVC

吉本興業の若人
「ぼよんぼよん」も
応援に駆けつけて
くれました!

2023年度檜葉町スポーツ協会会員登録開始!

檜葉町スポーツ協会で運営している教室・スポーツ少年団で一緒にスポーツ等を楽しみたい方は、会員登録をお願いします。

※詳細は今月の「広報ならは」に封入されています「一般社団法人檜葉町スポーツ協会 2023年度事業案内」をご覧ください。

〔受付場所〕(一社)檜葉町スポーツ協会事務局(ならはスカイアリーナ内)

〔会員期間〕令和5年4月1日～令和6年3月31日



スポ少サッカー



ヨガ



フラワーアレンジ

ゴルフクラブ会員募集

檜葉町スポーツ協会にゴルフの活動クラブが増えました。月に一度仲間で集まり、いろいろなゴルフ場でプレーを楽しむ活動を行います。ご興味のある方は檜葉町スポーツ協会会員登録をお願いします。



野球キャンプシーズン到来

今年も青森大学硬式野球部が、檜葉町総合グラウンドで合宿を行いました。本格的な練習は見ていだけで圧巻!昨年は八戸学院大学、福島レッドホープスにも合宿でご利用いただき、球場は大賑わいでした。



青森大学

お問い合わせ・お申込み先

(一社)檜葉町スポーツ協会(ならはスカイアリーナ内)

☎0240-26-0076 FAX0240-23-6047 E-mail:sports-n@helen.ocn.ne.jp

新型コロナワクチン 集団接種会場でのアンケートから

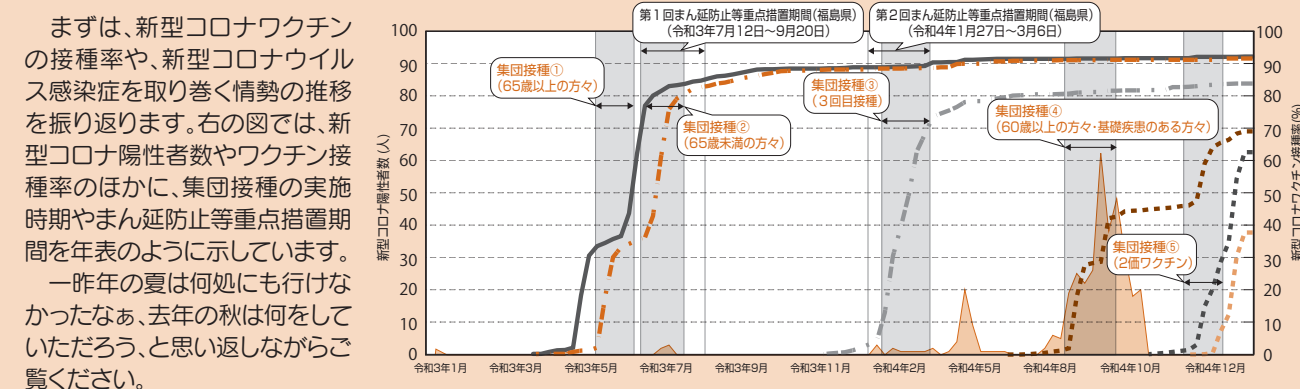
フレイルシリーズ vol.12

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行が続く中、多くの人々がストレスや不安を抱えています。このような状況では、コロナうつと呼ばれるうつ病のリスクが高まる可能性があります。もしかしたら、あなた自身やあなたの周りにも、ここ2年ほど心と身体の調子が優れないという方がおられるかもしれません。

そこで、新型コロナワクチンの集団接種会場で皆さんにご協力頂いたアンケートから得られた、心理的不調の状況をお伝えします。今回は、福島県立医科大学疫学講座に解析をお願いしました。



新型コロナワクチンの接種率と、新型コロナウイルス感染症を取り巻く情勢の推移



集団接種会場でのアンケート結果

それでは、集団接種会場で実施したアンケート結果から得られた、心理的不調に関して判明した事柄をお伝えします。

新型コロナウイルス感染症流行前の一般人口を対象とした全国調査における心理的不調の割合は、約3.0%とされており、新型コロナウイルス感染症の流行による感染への不安や行動制限等の理由で心理的ストレスが増加したことが、心理的不調の割合が高くなった原因と考えられます。

1回目と2回目とを比較すると、心理的不調を有する人の割合の低下がみられ、新型コロナワクチン接種により、感染への不安等が一時的に緩和したことで、精神的健康度が改善したのではないかと推察されます。

その後、新型コロナウイルス感染症の流行は一時的に落ち着いたように見えていましたが、再び陽性者数が増加し始め、福島県でも2回のまん延防止等重点措置が適用された結果、3回目のアンケート結果では心理的不調を有する人の割合も再び増加しました。同様に、陽性者数が増加した時期に行われた4回目のアンケート結果でも、心理的不調を有する人の割合は3回目とほぼ横ばいの結果となりました。

これらの結果から、陽性者数の増加が、感染への不安や行動制限等による心理的ストレスを増加させ、精神的健康度を悪化させてしまう可能性が考えられます。

ニューノーマル時代を健やかに生きるためのコツ

この原稿を書いている時点(令和5年3月10日)でも、新型コロナの流行は完全には終息していません。これから(ニューノーマル時代)の日常生活において、心理的不調に陥らないためには、ストレスを溜め過ぎないことが大切です。ストレスを溜め込まず、心身の健康を維持するためのコツをお伝えします。

① コミュニケーションを大切に

アンケートの結果では、外出や人と会う機会が減ることが、心理的不調の増加と関連していました。人とコミュニケーションをとることは、孤独感を和らげ、ストレスの解消につながります。また、孤独や孤立感に悩んでいる場合は、一人で抱え込まずに、信頼できる人に相談することが大切です。広報ならは2月号の「おうちでならいざっぶ(8ページ)」でご紹介した、「多接のすすめ」をご覧ください(QRコードはこちら)。



② 日常生活を大切に

アンケートの結果では、日常生活の楽しみや声を出して笑う機会の減少が、心理的不調の増加と関連していました。日常生活での笑いの機会を増やすことは、心身の健康に良い影響を与えます。楽しみを増やす方法は色々ありますが、まずは自分に合った趣味等を見つけることが大切です。また、健康的な食生活を心がけ、定期的に運動を行い、適度に睡眠をとりましょう。

未来守る人ジャー

きちんと回収されるためのコツ
気にかけてほしい“3つの出し方”

作戦22 『正しく分別！ 今すぐできるごみセパレーション大作戦!!』

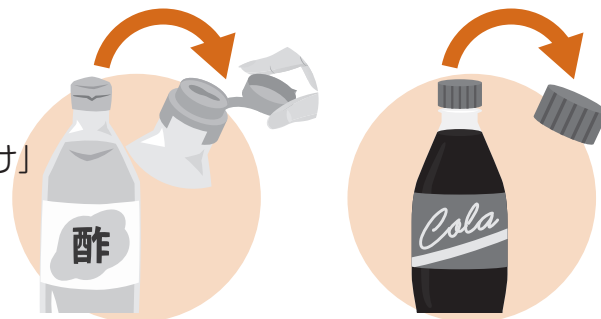
ちゃんと分別したのに残されちゃった！ナゼ??
今回は、そんなごみ出しに関するギモンを解決するため、意外と間違いやすいごみの出し方についてお伝えしようと思います！

作戦① キャップは外そう

ビンやペットボトルは、キャップがついていると回収されずにごみステーションに残されてしまいます。



調味料などのビンの
キャップは「ふた部分だけ」
外ればOK!



作戦② スプレー缶は不燃ゴミ

スプレー缶の素材もスチールやアルミですが、「不燃ごみ」扱いとなります。



作戦③ ガラス食器は不燃ゴミ

ビンに割れたコップや食器が混じっていることがあります。食器は不燃ごみです！



正しい分別で、いつもきれいな檜葉町にしましょう!!

お問い合わせ先／ならは脱炭素隊(くらし安全対策課) ☎0240-23-6109

イベント開催レポート

先月、先々月とならはスカイアリーナにて2つのイベントを開催いたしました。
今回は、そのイベントの開催レポートを掲載させていただきます。

ごきげん授業

2月25日、ならはスカイアリーナで「ごきげん授業」が開催されました！

当日はスポーツドクターの辻秀一さんをはじめ、4名のトップアスリート(元競泳日本代表 竹村幸さん、元レスリング日本代表 金久保武大さん、プロライフセーバー 西山俊さん、元フィギュアスケート日本代表 高橋成美さん)をお招きし、「ごきげんであることの価値」をテーマとした対話形式の講演会を開催しました。考え方の転換から日常生活に「ごきげん」を生み出す考え方や、体験談を踏まえたメンタルトレーニングなどの話がされ、トップアスリートからの貴重なお話を真剣に聞く子どもたちの様子が伺えました。授業の中ではトップアスリートと対話する場もあり「ごきげんの価値を感じる」「一生懸命取り組んでいること」「感謝していること」をグループに分かれて考え、意見を交わしました。

講演を終え、辻さんは「今日対話したことを家庭でも共有し、ぜひ今後に活かしてほしい」と子供たちにエールを送りました。



ブラインドサッカー体験会

3月5日、ならはスカイアリーナで「ブラインドサッカー体験会」が行われ、いわき市のサッカーチーム「リベルガード磐城」と会津若松市のサッカーチーム「FCエルマノス」がブラインドサッカーを初めて体験しました。

当日は宮城県仙台市で活躍しているブラインドサッカークラブ「コルジャ仙台」からフィールドプレイヤーの伊藤慎也選手とゴールキーパーの浦澤真選手も参加しました。

体験会では実際の競技の状態を再現するためにアイマスクをして行われ、仲間の声を頼りにジェスチャーゲームや鬼ごっこをし、普通のサッカーより得点をするのがむずかしいというPK戦も行われました。

体験した子供たちからは「初めてブラインドサッカーをやってみたけど、とても楽しかったです!」「目隠しをすることで、実際に目が見えない人たちがどのように競技するのがわかって、勉強になりました。」という声などが寄せられました。イベントの最後には伊藤慎也選手から「これを機会に町で白杖を持っている人を見かけたら声をかけて助けてあげてほしい。」「ブラインドサッカーについてもっと興味を持ってくると嬉しい」と子供たちへ語りました。



今後も、ならはスカイアリーナではより良いイベントを開催するための取り組みを進め、地域のスポーツ文化の発展に貢献していきます。

お問い合わせ先／ならはスカイアリーナ ☎0240-23-7966

『リフレッシュヨガ』始めます

ヨガは呼吸、ポーズ、瞑想を組み合わせ行い、普段使っていない筋肉を目覚めさせます。柔軟性やバランス能力、筋力、心肺機能の向上を図ることが出来ると共に、深い呼吸で自律神経が整い、精神を安定させる効果が期待できます。ぜひヨガで心と体をリフレッシュしてみませんか？

■対象者／参加要件※を満たしている方 ※参加要件…医師から運動制限に関する指示等を受けていないこと。30分程度歩くことに不安が無い程度の体力があること。

コース名	Aコース	Bコース
会 場	みんなの交流館 ならはCANvas	地域活動拠点「まざらっせ」
日 に ち	4月19日以降の第1・第3・第5水曜日	
時 間	13:15～14:15	14:45～15:45
定 員	25名程度	25名程度

■内 容／理学療法士兼ヨガインストラクターによるリフレッシュヨガ

■持 ち 物／タオル・運動しやすい服装・水分(水筒又はペットボトル)・ヨガマット(お持ちの方)

■申込方法／保健福祉課保健衛生係にご連絡ください(☎0240-23-6102)。
先着順にお申し込みを受け付けます。

■注意事項／都合により日程・内容等が変更となる場合があります。

◎お申し込み・お問い合わせ先／保健福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102



令和5年4月1日より 下水道事業は 公営企業会計へ移行しました

本町の下水道事業は令和5年4月1日より官公庁会計から公営企業会計へ移行しました。公営企業会計へ移行することにより、経営状況や財政状態がより明確になります。今後、さらなる経営の効率化を図り、持続可能な下水道事業に取り組んでいきます。

なお、今回の移行は、会計方式の変更であり、下水道使用料やその納付方法に変更はありません。ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

◎お問い合わせ先
建設課 都市計画係 ☎0240-23-6106

凍霜害に 注意しましょう

3月～5月にかけて霜が発生しやすい時期になります。凍霜害による農作物の発育不良や結実不良が起きないように防寒・防霜対策を行う等十分にお気をつけください。

高等学校等への 通学費助成について

1. 対象者

- (1) 檜葉町に住所を有し、高等学校等に在籍する方(基準日となる5月1日に在学している方)
- (2) 高等学校等の所在する最寄りの駅から定期券を利用して通学している方、又はバスの定期券を購入して通学している方

2. 助成額(100円未満切り捨て)

◎町内から通学の場合

電車：定期券購入費100%の金額

バス：定期券又はスチューデントパス購入費100%の金額

◎町外から通学の場合

電車：定期券購入費20%の金額

バス：定期券又はスチューデントパス購入費20%の金額

3. 提出書類

- ◎交付申請書
- ◎生徒手帳(学生証)または在学証明書の写し
- ◎通学定期券またはスチューデントパスの写し
- ◎お問い合わせ先／こども課 ☎0240-23-5515



プール&ストレッチ[第1クール]のご案内

ならはスカイアリーナでストレッチ&アクアビクスをしませんか？

Jヴィレッジのトレーナーが、皆さんが元気で笑顔になれるメニューを提供します！

■対象者・定員／

対象者：参加要件※を満たしている方 ※参加要件…医師から運動制限に関する指示等を受けていないこと。30分程度歩くことに不安が無い程度の体力があること。

定 員：25名程度

日 程／	日 に ち	時 間
	4月14日(金)・21日(金)	
	5月12日(金)・19日(金)・26日(金)	
	6月 2日(金)・ 9日(金)・16日(金)	
	9:50～12:00	

全8回

■場 所／ならはスカイアリーナ

■内 容／ストレッチ・水中ウォーキング・アクアビクス等

■持 ち 物／水着・水泳帽(キャップ)・タオル・上履き・運動しやすい服装・水分(水筒又はペットボトル)

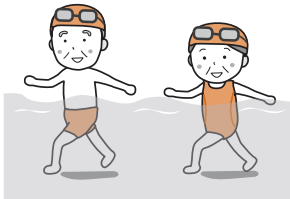
■申込方法／4月12日(水)までに保健福祉課保健衛生係にご連絡ください(☎0240-23-6102)
先着順にお申し込みを受け付けます。

■注意事項／原則として、8回続けて参加して頂く教室です。

都合により日程・内容等が変更となる場合があります。

定員を超えたお申し込みがあった場合には、初めて参加される方を優先させていただきますのでご了承ください。

◎お申し込み・お問い合わせ先／保健福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102



令和5年度 デュークズウォーキング教室 の開催

これまで開催してきたデュークズウォーキング教室は、ご好評につき令和5年度も毎月1回開催します！4・5月の日程は下記のとおりです。初めての方も、町民以外の方も参加可能です。皆様のご参加、お待ちしております！

■講 師／五十嵐KAZUKO氏

(デューク更家公認ウォーキングスタイリスト)

■日時・会場／①4月22日(土)13:30～15:00

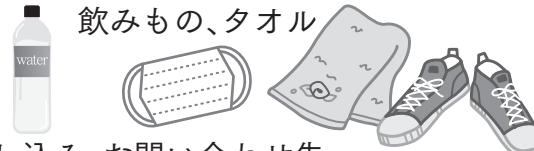
ならはスカイアリーナ

②5月20日(土)13:30～15:00

檜葉中学校武道館

■持 ち 物／マスク、うわばき(スニーカー等)、飲みもの、タオル

◎お申し込み・お問い合わせ先
保健福祉課 国保年金係 ☎0240-23-6102



元気アップ教室

Jヴィレッジフィットネスジムのトレーナーが、運動やストレッチ等を支援します。

■日時／4月12日(水)・4月26日(水)・5月10日(水)
13:30～15:00

■会場／みんなの交流館 ならはCANvas

◎お問い合わせ先／保健福祉課 保健衛生係
☎0240-23-6102



檜葉町公式Twitterが はじまりました！

檜葉町公式Twitterアカウントができました！檜葉町のおすすめ情報やホットな話題を発信していきます。ぜひフォローのほどよろしくお祈いします！

アカウント名／
福島県檜葉町@narahatown



◎お問い合わせ先／政策企画課
☎0240-23-6103

令和5年度女性のためのがん(子宮頸がん・乳がん)検診意向調査 ～あなたと、あなたの大切な人のために、定期的ながん検診を受けましょう～

福島県内にお住まいの20歳以上の女性を対象に、町から「女性のためのがん検診意向調査」を送付しました。意向調査が提出されないと、検診を受診できないおそれがあります。また、意向調査票に記載された住所が、現住所と異なる場合は、必ず新しい住所を記入してください。

■意向調査票提出期限／4月17日(月) ※調査票に必要事項を記入して返送してください。

【福島県外にお住まいの方へ】

福島県外にお住まい(避難先住を登録している)の方には、夏頃に日本予防医学協会からお知らせが送付される予定です。

【集団検診の日程・会場】

検診内容	日 程	会 場
子宮頸がん検診	5月16日(火) 5月19日(金)	檜葉ときわ苑 (大字井出字上ノ原2-3)
乳がん検診	5月25日(木)・26日(金) 6月 1日(木)・ 2日(金) 6月 5日(月)・ 6日(火) 9月 8日(金)・ 9日(土)	

※9月の乳がん検診は総合健診にあわせて実施します。詳細は意向調査票に同封されたお知らせをご覧ください。

●お問い合わせ先／保健福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102

令和5年11月1日以降に ご利用いただく 「ふるさと帰還通行カード」 更新申込手続き

- 標記の無料措置が令和6年3月31日まで延長されました。
- 現在お持ちのカード(桃色)は令和5年11月1日以降ご利用できません。
(令和5年10月31日まではご利用可能です。)
- 令和5年11月1日以降も利用をご希望の方は、改めて更新手続きが必要となり、次回カードからは**事前に利用区間の登録が必要**となります。申請書につきましてはNEXCO東日本より順次発送されますので、必要事項を記入して町民税務課へご提出ください。

■受付開始日／令和5年4月10日(月)

■受付場所／町民税務課(郵送可)

●お問い合わせ先

【受付窓口・受付方法】

町民税務課 ☎0240-23-6101

【カード全般・紛失盗難による再発行】

NEXCO東日本お客様センター

☎0570-024-024 または ☎03-5308-2424

【利用目的】

国土交通省 道路局 高速道路課

☎03-5253-8500

地域学校協働活動 合唱活動の開催

令和5年5月より地域学校協働活動 合唱活動を開催します。毎月いろいろな童謡や唱歌などを歌う予定です。みんなで楽しく歌いましょう♪

■日時

毎月第2・第4金曜日 14:45～16:00
※第2・第4金曜が祝日の場合はお休みになります。
※初回は5月12日(金)の予定です。

■場所

檜葉小学校2階音楽室
※小学校正面玄関に14:30に集合し署名・検温のうえ入室します。

■対象

檜葉町民(会場まで自分で通える方・事前の申込みが必要)

■申込

電話またはFAXにてお申し込みください。
申込書は檜葉町こども課・檜葉町コミュニティセンター・檜葉町地域学校協働センター(檜葉小学校内)に置いてあります。

●お問い合わせ先

こども課 ☎ 0240-23-5515

FAX 0240-25-1100

シルバー人材センター 会員募集

シルバー人材センターでは、60歳以上の健康で知識と経験・技能を生かし働く意欲のある方を募集しております。仕事の内容は、除草や庭木剪定、清掃業務等があります。入会を希望する方は下記の日程にご相談ください。

■開催日時

毎月 第2曜日 9:00～12:00

■会場

南双広域シルバー人材センター
富岡町中央1丁目62番地(大原本店旧店舗)

●お問い合わせ先

(社)南双広域シルバー人材センター

☎0240-23-5240

衛生害虫駆除の実施

檜葉町内の住宅及び住宅周りの衛生害虫(蚊など)の駆除を行います。希望される方は、広報ならは4月号に同封している「衛生害虫駆除希望申込書」に記載の上、お申し込みください。

■対象

檜葉町内の一般住宅・町営住宅
(※1世帯につき1件まで)

■受付期間

5月12日(金)まで

■申込方法

- ①役場窓口での申請
- ②FAXによる申請(FAX番号:0240-25-5710)
- ③メールによる申請
(宛先: kurashi-n@town.naraha.lg.jp)

※申請書は役場窓口またはホームページから取得できます。

■件数

約300件

※受付は先着順とし、予算の範囲内での実施となります。

●お問い合わせ先

くらし安全対策課 環境係 ☎0240-23-6109

行政相談会を開催しています

行政相談委員による行政相談会を毎月開催しています。行政に対する困りごとなどお気軽にご相談ください。事前予約は不要で、秘密は守られます。



■開催日／原則毎月第2水曜日
(4月～3月)

■時 間／10:00～12:00

■会 場／みんなの交流館
ならはCANvas
2階「和室-2」

■行政相談委員*／永山光明さん
(山田岡)

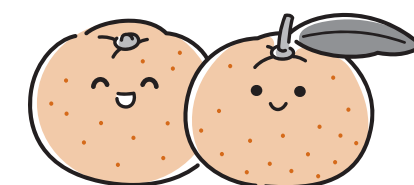
*総務大臣より行政相談委員として委嘱されます。

※なお、開催日時が変更となる場合は町ホームページにてお知らせいたしますのでご確認ください。

●お問い合わせ先／総務課 ☎0240-23-6100

ゆず栽培生産者大募集

町では、ゆず振興として出荷を目的としたゆず生産者を増やすため、出荷用柚子の苗木を生産希望者へ配布いたします。



柚子苗木

概ね3年もの(1.5m～1.8m)

配布数

1生産者あたり5本以上

※1本あたりの配布は行いません。

※予定数量に達した場合、数の調整または抽選となります。

配布条件

- 檜葉町内の自己所有農地に定植し、出荷を目的として継続した栽培を行うこと
- 定植前の写真と定植後の写真を町へ提出すること
- 年1回県の双葉農業普及所に栽培指導を受けること

■申込期間／令和5年4月10日(月)～4月20日(木)

■申込方法／お電話にてお申し込みください。

●お問い合わせ先

農林水産課 ☎0240-23-6104

4月の子育て支援情報♪

乳幼児健診

乳幼児健診はお子さんの成長・発達を確認し、保護者の方が子育ての悩みや不安を相談できる機会です。ぜひ、お出かけください。

■対象／(4か月児健診)令和4年11月生まれ
(10か月児健診)令和4年4月～
令和4年6月生まれ
(3歳児健診)令和元年11月生まれ
対象者には通知をお送りしますので、通知をご確認ください。

■日程／4月12日(水)

■受付時間／12:30～13:00

■会場／あおぞらこども園

子育て支援センター

■内容／身体測定、内科診察、お口の健診、
栄養相談、保健指導

母子健康相談

子育てのこと、お子さんの成長のことなど、日ごろのちょっとした“気になる”ことを相談できます。

■対象／就学前のお子さんと保護者

■日程／4月26日(水)

■時間／10:00～12:00(時間内であれば、
いつ来ていただいてもOKです!)

■会場／あおぞらこども園

子育て支援センター

■申し込み／不要

●お問い合わせ先

こども課 子育て支援係 ☎0240-23-5515

防犯対策の徹底を!!

県内浜通りでも、一般住宅に対する強盗事件が発生しています。

被害に遭わないために、家に居る時にも戸締りをし、訪ねてきた人に対しては、鍵をかけたまま応対して相手を確認するなど「**防犯対策**」を徹底してください。

また、**不審な人や車**を見かけたときは、「#9110」双葉警察署(☎0240-22-2121)へ通報してください。



【参考情報】

犯罪発生情報や不審者情報といった警察から様々な情報をメール配信している“**POLICEメールふくしま**”があります。

「pmf01@uh28.asp.cuenote.jp」へ空メールを送ることで登録できます。詳細については福島県警HPへアクセスください。

●お問い合わせ先

くらし安全対策課 防災交通係

☎0240-23-6109



おめでとうございます(敬称略)

氏名	保護者名	行政区
わたなべ はるま 渡邊 悠真	優太・瑞希	上井出
たにぐち あきと 谷口 彰人	豊大・美紀子	営 団
のうち ともよし 野内 与義	義和・優里	山田岡

(広報ならは3月号掲載以降にお生まれになられた方)



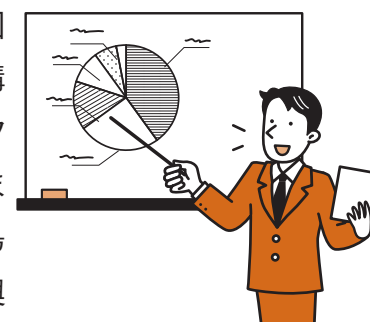
お悔やみ申し上げます(敬称略)

氏名	年齢	行政区	氏名	年齢	行政区
小澤 憲一	75	上小塙	横田 吉治	75	下小塙
猪狩比佐子	82	下井出	佐藤 静子	92	山田岡
猪狩八重子	90	山田岡	松本 健二	79	北 田
宇陀ハル子	92	繁 岡	上遠野トメ	104	下小塙
熊坂千枝子	92	下井出			

(広報ならは3月号掲載以降亡くなられた方)

福島国際研究教育機構(F-REI)の設立のお知らせ

4月1日、福島国際研究教育機構(略称:F-REI(エフレイ))が設立されました。F-REIは、福島を始め東北の復興を実現するための「創造的復興の中核拠点」となることを目指します。



また、4月15日(土)に福島国際研究教育機構(F-REI)設立記念シンポジウムが開催されます。国内外の著名人によるメッセージ・講演や、地元企業や学生の方々によるスピーチ・トークセッション等を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。

■日程／4月15日(土)

■場所／いわきワシントンホテル

■申し込み方法等／ホームページでお知らせ

●F-REIに関する情報は

<https://www.f-rei.go.jp/>

楡葉町帰還農業者支援事業

農家の皆さんが、町内で再び営農を始めるため必要な、小型の農業用機械や小規模な農業用ハウスの導入費用を助成します。



■対象者

楡葉町に農地を所有する農業者で町内において農業経営を再開する意思があり、年間農業従事日数が150日以上となることが確実となる農業者、農業者の組織する団体等とする。
※農業経営世帯1回限りの申請となり、**これまでに活用した方は対象外**となります。

■対象経費

- ①農業用機械購入費
(営農に必要な小型管理機、肥料散布機等)
- ②農業用ハウス購入費
(小規模なビニールハウス、設置費や修繕費含む)

※補助対象の農業用機械とは、耕作をする田畑の中で作業する機械です。

※草刈り機等は補助対象外となります。

事業費上限50万円の3/4以内

(それぞれ毎に補助対象経費の上限額50万円)
例:補助対象経費50万円×補助率3/4=補助金37万5千円

■申請期間

令和5年4月3日(月)～令和6年1月31日(水)まで

●申請窓口・お問い合わせ先

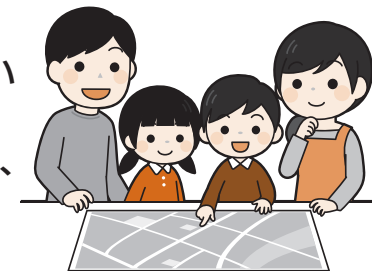
農林水産課 ☎0240-23-6104

ヒトゴトじゃない! 災害のヨト②

～新しいハザードマップ お届けします!～

3年ぶりに楡葉町ハザードマップを改訂します。
ハザードマップは災害から身を守るための強い味方です。

ご自宅に届きましたら中をよく読んでいただき、ご家庭でどうか大切に保管してください。



新しいハザードマップのココに注目!

①大きく、見やすくなりました!

以前のものと比べると、約1.2倍の大きさです!

②ひもを通す穴をあけました!

ご家庭で、目立つところに保管してください

③初掲載! 重点ため池ハザードマップ

住宅密集地に近いため池が決壊した場合をシミュレーションしたものです

○ハザードマップの使い方をご説明します

くらし安全対策課では、防災に関する出前講座を行っています。
行政区や地域サロン、企業の皆さんなどのご要望で、町内どこでもご説明に伺います!

●ハザードマップ、防災に関する出前講座のお問い合わせ先/くらし安全対策課 ☎0240-23-6109

企業広告欄 内容についてのお問い合わせは広告主までお願いします。

そば打ち処 のの家

一手打ちそばの注文販売専門店ー

山形月山湧水浸し 寒ざらしそば

(4月～5月 期間限定)

1人前 **450円**

御注文は2人前より承ります。打ちたてのそばを御賞味ください。

●お問い合わせ・ご注文は...
楡葉町井出字浄光西3-28 ☎080-3327-2702

企業
広告

町で実施した自家消費食品等の放射能簡易検査結果

令和5年2月の自家消費食品等簡易測定所で実施した食品等の放射能検査結果です。

食品種別	2月分	測定物(基準値超数／検体数) 最小値～最大値(Bq/kg)
	検体数	
水 類	0	
山菜類	1	フキトウ(0/1) 24.70
果実類	0	
野菜類	1	サツマイモ(0/1) 6.39
鳥 獣	2	猪肉(2/2) 202.06～665.10
その他	0	
合 計	4	

※区分は県の区分に従いました。**色字**は検査した食品のうち**国の基準を超えた検体数**です。
※国の基準(平成24年4月1日施行)は、一般食品で1キロ当たり100ベクレル、飲料水で10ベクレル、牛乳や乳児用食品は、50ベクレルです。
※依頼された検査品の最小値と最大値を記載しています。
※「ND」は「Not Detected」の略です。「不検出」の意味で、検出限界以下であることを示す場合に用います。
※従来の詳細な測定値の表は、ホームページで随時公開しています。

●お問い合わせ先／ 農林水産課 ☎0240-23-6104 放射能簡易測定所(檜葉町農林水産物処理加工施設内) ☎0240-23-6557

檜葉町公共施設等モニタリング調査実施結果(3月実施分)

- 調査期間 令和5年3月6日(月)
- 測定器 NaIシンチレーションサーベイメータ(空間放射線量率測定用サーベイメータ)を使用
- 測定方法 地表面から高さ1m及び高さ1cmの空間線量率を測定(くらし安全対策課職員が実施)。
測定器を水平に保ち、約30秒ほど経過させて測定値が安定したことを確認し、10秒ごとに測定値を5回読み取り、その平均値を記載(県指定測定方法に基づき実施)。
- 測定結果

測 定 箇 所		測定値(μSv/h)	
		今月測定値	
		地上1.0m	地上1.0cm
下井出地区集会所	(駐車場)	0.12	0.12
しおかぜ荘	(玄関前)	0.11	0.11
天神岬スポーツ公園内	(オートキャンプ場)	0.09	0.09
天神岬スポーツ公園内	(芝 生)	0.06	0.07
こども園	(園 門)	0.14	0.15
北田地区集会所	(駐車場)	0.10	0.11
木戸川漁協	(玄関前)	0.09	0.09
前原地区集会所	(駐車場)	0.06	0.08
山田浜地区集会所	(駐車場)	0.08	0.08
山田岡地区集会所	(駐車場)	0.09	0.11
木戸駅	(入口前)	0.07	0.08

※全測定結果は、ホームページから閲覧することができます。

※2月、3月実施分について、最大の測定値となった箇所は下記の通りとなります。

▶地上1m:塩貝の大力ヤ(駐車場) 0.17μSv/h ▶地上1cm:地福院前(道路) 0.19μSv/h

※平成29年5月調査より、測定箇所を概ね北部と南部に分けて2か月に1度の測定に変更しました。奇数月は南部の測定結果を掲載します。

※令和元年5月より大坂地区集会所の測定点を新しい集会所に変更しました。

※令和元年9月より前原地区集会所の測定点を新しい集会所に変更しました。

●お問い合わせ先／くらし安全対策課 放射線対策係 ☎0240-23-6109

町では、家庭菜園等で栽培された自家消費野菜や野生の山菜・きのこ類等の放射能検査が実施できる体制を整えております。

■測定方法

測定は3つの検査機器を使用して検査をしています。

○破壊式測定器

食品を細かく刻んだもの500g以上が必要です。

○非破壊測定器

食品をそのままの状態で検査ができます。ただし500g以上が必要です。

○ゲルマニウム半導体検出器

500g以上を確保することが難しい食品や非破壊測定で50Bq/kg以上検出の場合に再測定として使用しています。

※食品は土等をきちんと洗い落とし、調理ができる状態の物をご持参ください。

※測定が混み合う場合がございますので、お急ぎの方は事前に放射能簡易測定所へお問い合わせのうえ、測定品をご持参ください。

■検査時間

約1時間程度で検査結果が出ます。

※井戸水、湧水等は検査結果が出るまで1日かかります。

檜葉町内居住者集計表(令和5年2月28日現在)

【住民基本台帳人口】

世帯数	男	女	人口(外国人含む)
3,127	3,444	3,153	6,597

【町内居住者】

行政区	世帯数	人数	行政区	世帯数	人数
上井出	279	518	上小堀	107	221
下井出	291	390	下小堀	241	557
北 田	384	788	山田岡	276	526
大 谷	134	249	前 原	58	110
松 館	44	107	山田浜	39	80
上繁岡	60	112	女 平	15	28
繁 岡	73	132	大 坂	12	26
下繁岡	79	174	小 計	748	1,548
波 倉	23	42	合 計	2,258	4,293
営 団	141	230			
乙次郎	2	3			
小 計	1,510	2,745	町内居住率	世帯 72.21%	人 65.08%

檜葉町内居住者について

① 町内居住者数／当月末の町内に居住する者の数

② 町内居住率／当月末の住民基本台帳人口に対する町内居住者数の割合

【町内居住者年代別集計表】

	人数		人数
0～4歳	152	60～64歳	371
5～9歳	125	65～69歳	386
10～14歳	79	70～74歳	378
15～19歳	114	75～79歳	263
20～24歳	202	80～84歳	228
25～29歳	250	85～89歳	180
30～34歳	205	90～94歳	98
35～39歳	201	95～99歳	25
40～44歳	215	100～104歳	5
45～49歳	264	合 計	4,293
50～54歳	238		
55～59歳	314		

町内居住者数
町内居住率(%) = $\frac{\text{町内居住者数}}{\text{住民基本台帳人口(月末)}}$

水道水中における放射性物質のモニタリング結果

■採水場所:小山浄水場

■水 源:木戸川(ダム放流水)

■採水年月日:令和5年2月1日～28日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

※いずれの検体も、2月28日時点で放射性物質は不検出です。
※「ND」とは、一定の条件で測定機器が検出できる最小値(1Bq/kg)未満であることを示しています。

《参考》検査日現在の目標値 (単位:Bq/kg)			
	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
食品衛生法の規定に基づく新たな基準による目標値	—		10

■採水場所:北林配水池

■水 源:寺下・中川原水源池(浅井戸・伏流水)

■採水年月日:令和5年2月1日～28日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

測定機関:双葉地方水道企業団
分析装置:ゲルマニウム半導体検出器／検査頻度:毎日
測定方法:水道水等の放射能測定マニュアル(厚生労働省)

※これまで暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。

檜葉町 令和5年度 双葉地方水道企業団 水道修理工事当番表(令和5年4月～令和6年3月)

指定 給水工事業者名	年月	令和5年										令和6年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
草野建設(株) 0240-25-3121	17日～23日	6日・7日 29日～31日	1日～4日 26日～30日	1日・2日 24日～30日	13日 17日～20日	11日～17日	9日～15日	6日～12日	4日～10日 30日	3日 22日～28日	19日～25日	18日～24日		
映彩輝 0240-25-2585	1日・2日 24日～30日	8日～14日	5日～11日	3日～9日 31日	1日～6日、14日 21日～27日	18日～24日	16日～22日	13日～19日	11日～17日 31日	4日～7日 29日～31日	1日～4日 26日～29日	1日～3日 25日～31日		
(有)吉田設備 090-3982-3422	3日～9日	1日～3日 15日～21日	12日～18日	10日～16日	7日～11日、15日 28日～31日	1日～3日 25日～30日	1日 23日～29日	20日～26日	18日～24日	1日 8日～14日	5日～11日	4日～10日		
(有)村井設備 0246-38-6855	10日～16日	4日・5日 22日～28日	19日～25日	17日～23日	12日・16日	4日～10日	2日～8日 30日・31日	1日～5日 27日～30日	1日～3日 25日～29日	2日 15日～21日	12日～18日	11日～17日		

譲渡・売買が可能な町内産農産物

現在福島県では、放射能検査を行い安全な農産物が流通・消費される体制を整えています。年度毎に町内において1品目あたり1検体以上、県の放射能検査を実施する必要があります。下の表は、令和4年4月1日から令和5年3月8日までに県で行われた、検査結果です。

この表に、含まれない農産物の譲渡・売買はできません。(野生に自生する物も含まれます)

【譲渡・売買が可能な農作物】

(令和5年3月8日現在)

野 菜	赤しそ	アスパラガス	いちご	オタマボエム	大葉	オクラ	かぼちゃ	カリフラワー	キャベツ	きゅうり
	こねぎ	こまつな	ざといも(茎)	サニーレタス	ざやいんげん	ざやえんどう	しとうがらし	シュンギク	食用きく	すいか
	ズッキーニ	スナップえんどう	セルリー	そらめめ	チンゲンサイ	トウガン	トウモロコシ	トマト	なす	菜花
	ニガウリ(ゴーヤ)	ニラ	ねぎ	白菜	葉にんにく	パプリカ	ハヤトウリ	ピーマン	ふき	ブロッコリー
根菜・芋類	ほうれんそう	みずな	ミニトマト	みょうが	むかご	落花生				
	かぶ	キクイモ	ごぼう	さつまいも(かんしょ)	ざといも	じゃがいも(レイショ)	大根	玉ねぎ	ながいも	にんじん
果 実	にんにく	はつか大根	ヤーコン							
	いちぢく	うめ	かき	ぶどう	ブルーベリー	みかん	ユズ	レモン		

※栽培は肥培管理されているもので、山取り(野生)のをぞきます。

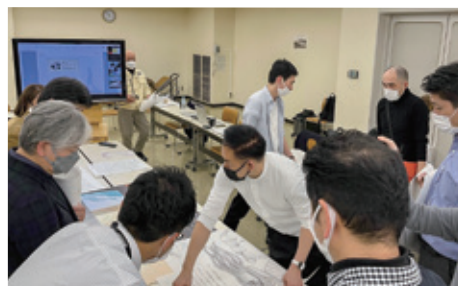
上の表に含まれない農産物等を譲渡・売買したい場合は、まず農業普及所に問い合わせ、県の放射能検査を受けてください。

●お問い合わせ先／福島県双葉農業普及所 ☎0240-23-6474 農林水産課 ☎0240-23-6104

「**楡葉町 × 東京大学総合研究博物館 連携ミュージアム 大地とまちのタイムライン**」 として生まれ変わります!!

町では令和2年度から東京大学総合研究博物館(略称UMUT)と連携した歴史資料館のリニューアルに着手し、この春ユニークな新ミュージアムへと生まれ変わります!

きっかけは、大学等の「復興知」を活用した福島県イノベーションコースト構想促進事業を機縁として、令和2年2月1日に「収蔵施設と展示事業(仮称「モバイルミュージアム in NARAHA」)についての協定」を締結したことでした。これにより、令和2年度に歴史資料館分館を東京大学総合研究博物館資料収蔵室に改修し、帝国大学の頃から収集された貴重な鉱物・古生物(化石)の試料の一部が保管されることとなりました。さらに、同2年度に町とUMUTの双方が持つ歴史的・知的資源を活用した新ミュージアムの設置が計画され、同3～4年度に設計・製作・展示作業を無事終了。「楡葉町 × 東京大学総合研究博物館連携ミュージアム 大地とまちのタイムライン」と名付けられ、いよいよ今年の4月22日(土)開館予定です。お楽しみに!



東京大学との打ち合わせの様子



新ミュージアムのパースです



展示内容について調整を行っています



楡葉町の地形模型にプロジェクションマッピング



地球と楡葉町の歴史がリンクする入り口です

少しかけ
先見せ!!

新たな門出へ



楡葉小学校 3月23日

楡葉小学校の修了・卒業証書授与式が挙行政され、卒業生20名に卒業証書が授与されました。

今回卒業する20名は楡葉小学校はじめての卒業生となります。第1号からはじまる卒業証書を受け取り、先生や保護者、地域の方々への感謝の言葉を述べながら、学び舎を後にしました。



祝 修・卒業証書授与式



楡葉中学校 3月13日

楡葉中学校で第59回卒業証書授与式が挙行政され、卒業生16名に卒業証書が授与されました。

今回の卒業生は、入学直前に新型コロナウイルス感染症が流行し、中学校生活のほとんどを感染症対策を講じながら送ってきました。

卒業生代表として松本莉於さんから「コロナで大変でしたが、大阪・京都へ行った修学旅行やナリーズのキャリア教育活動、部活動などすべてが思い出になりました。」と答辞が述べられました。





消防署からのお知らせ

令和4年中の双葉郡内の火災発生は
16件、火災による死傷者は**5人**でした。

双葉郡内での火災事例

- ①ガスコンロで鍋の空焚きによる出火
- ②非純正の工具用バッテリーが充電中に出火



空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節となります。
火の元に注意し、「**火の用心**」をお願いします。



火事と救急は119番



●富岡消防署 ☎0240-22-2119 ●榑葉分署 ☎0240-25-2119 ●川内出張所 ☎0240-38-2119

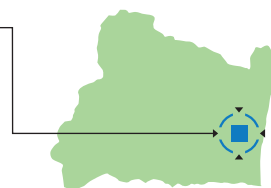


空からならはを
みてみよう!



ここなら笑店街

普段住んでいる榑葉町を
いつもとは違う目線で見てみませんか?



榑葉町役場連絡先一覧

榑葉町役場

●総務課 0240-23-6100	●土地改良区 0240-23-6137	●こども課 0240-23-5515
●町民税務課 0240-23-6101	●産業創生課 0240-23-6105	●生涯まなび課 0240-25-2492
●保健福祉課 0240-23-6102	●建設課 0240-23-6106	コミュニティセンター
●政策企画課 0240-23-6103	●くらし安全対策課 0240-23-6109	0240-25-4701
●農林水産課 0240-23-6104 (農業委員会含む)	●出納室 0240-23-6131	●あおぞらこども園 (子育て支援センター)
	●議会事務局 0240-23-6132	0240-26-0808

防災無線

防災無線の内容を電話で
確認できます。
0240-25-5805
0240-25-5806

〒979-0604 双葉郡榑葉町大字北田字鐘突堂5番地の6
TEL 0240-25-2111 FAX 0240-25-5564 E-mail:naraha@town.naraha.lg.jp
【土日祝日は日直対応 8:30~17:15】



榑葉町をちょっと
のぞいてみませんか?
**榑葉町
公式SNS**



ホームページ



Twitter



Facebook



Instagram



LINE



YouTube



あおぞらこども園
Instagram